

「サイクリングのおやくそく」

南井上小学校 二年 久米 晴大

ぼくは、おとうさんとおにいちゃんとしよじてん車でお出かけするのが大好きです。はじめてじ分のじてん車にのってお出かけするとき、おとうさんと「サイクリングのおやくそく」をしました。

サイクリングに出ばつする前に、ヘルメットをかぶります。いつもおとうさんがあごひもの長さをチェックしてくれます。ゆるかったらころんだときにぬげるからだそうです。

サイクリングでは、おとうさん、ぼく、おにいちゃんのじゅんばんにならんでいます。大きなみちに出るときや車がきたとき、前にいるおとうさんが「とまるよ。」とか「はしによって。」とか言います。おにいちゃんも後ろでぼくを見てくれていて、「もつとはしによらんとあぶないよ。」と教えてくれたりします。

ぼくは、さいしよはおとうさんのすぐ後ろをついて行っていたけど、とまるときにおとうさんにぶつかりそうになったことがあってちよつとあいだをあけて走るようになりました。おとうさんの近くのほうがこえがよく聞こえてあん心だと思っていたけど、ちよつとあいだをあけておくほうがあんぜんだと思いました。

しんごうをわたるときは、チカチカしはじめたらむりせず早めにとまるように言われています。おとうさんが先にいってしまってもぜつたいにまっつてくれるし、おにいちゃんもいるから、かならずとまります。

ぼくはサイクリングが大好きなので、たのしくなってくると、ときどきまわりが見えてないことがあるみたいです。だから、おとうさんになん回も言われていることが二つあります。

一つ目は、車のほうがぼくのことをよけてくれると思わないこと。たとえば、ほそいみちで車がきたら、できるだけはしによってとまっておきます。

二つ目は、じ分はじてん車のうんてんが上手だと思っはいけないということです。もしかしたらうんてんをミスしてしまうかもしれないから、早めにブレーキをかけたなり、とまっつてからまわりを見たりします。

これからまたのしくじてん車でお出かけしたいので、ぼくは「サイクリングのおやくそく」をきちんとまもります。